



ポートランド日本人学校だより

2016. 5. 21

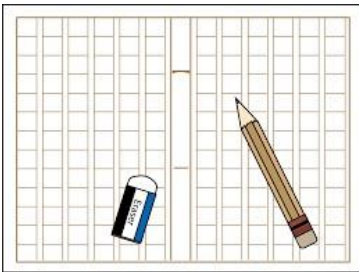
わかば

第16-07

ホームページ <http://www.shokookai.org/gakkou.htm>

毎週火曜日更新

海外子女文芸作品コンクール



海外で学ぶ小・中学生に、日本語に対する興味・関心を持続させ、国語力を伸長させることを目的とし、同時に貴重な体験を発表する場として、海外子女教育振興財団の主催で今年もコンクールが実施されます。募集作品は、言語・風俗・習慣など、日本と異なった生活環境の中で生活している、すなわち、海外で暮らしている子ども達の文芸作品である事が条件です。

今年度も、小学2年生から中学3年生の全員が、作文・詩・短歌・俳句の中から一人一点出品できるように学校の授業で取り組んでいます。中学生は授業の関係で宿題となることもあります。どんな作品が出来上がってくるか楽しみです。

学校・事務局への連絡方法について

今一度、ご確認ください。

① 授業日当日の急な欠席（急病などによる）の場合！

8：00～8：40の間に、学校の電話503-313-7909（携帯）までお願いいたします。

（商工会事務局の学校用番号 503-641-9200 は、学校日当日は事務局が対応・確認できません。メッセージを残されても、学校日当日に担任に伝わらないことになるためご注意ください。）



② 平日の諸連絡・問い合わせの場合（火曜日～金曜日のみ）

火曜日～金曜日の9：00～17：00の間に、学校事務局の電話503-641-9200までお願いいたします。

（商工会事務局の番号とは異なりますのでご注意ください。）

漢字検定のボランティア募集

再度のお願いです。宜しくお願い致します。

★ 只今、漢字検定実施のためのボランティアを募集しています。

★ 応募者が少なく苦慮しています。どうぞ、よろしく願いいたします。

◇募集人員：6名以上（現在の応募者は、1名です。）

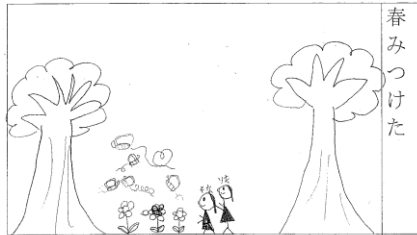
◇日時：6月4日（土）午後2時30分～午後4時30分

お引き受けいただける方は、学校で直接声をかけて頂くか、上記学校事務局の電話あるいはE-mailで連絡をお願いいたします。

E-mail：pjs@shokookai.org

児童生徒の作品

小学部 2年2組 高木りた 小学部 2年2組 ホフマン麻衣亜 小学部 2年2組 桑原優奈



春みつけた

なまえ 高木りた
 わたしが見たのは春は、ちやうど
 ちやうど、ちやうど、ちやうど
 春だ、な、とよもって
 こころが、あくわくします。
 春は、わたしのたんぽぽが
 だし、春は、わたしの一ばん
 すきな、きせつです。



春みつけた

なまえ ホフマン麻衣亜
 私の見つけた春は、いそいで
 す。ふゆの、ありだに
 おしい、ちやうど、ちやうど
 すり、大きく、なつてしま
 いました。春に、なつて
 白り、花が、さいて、いき
 の、み、が、大きく、なつて、き
 ました。も、ちやうど、ちやうど
 たべれ、と、い、です。



春みつけた

なまえ 桑原優奈
 わたしは、春に、さく、さか
 さい、ている、の、を、見る、と
 春、が、な、あ、て、お、も、い、ま、ま
 かせ、か、と、い、言、う、と、い、え
 の、ま、あ、り、か、が、ピン、ク
 にな、る、か、が、で、す。あ、と、
 と、り、が、ラ、ウ、ウ、の、お、に、ち、の、木
 に、す、を、さ、え、ら、う、つ、て、ま、す。
 赤、ち、や、ん、が、生、ま、れ、る、の、か、た、の、し、み、で、ま

「こんな2年生になりたい」 小学部 2年1組 さとう はるな

わたしは、2年生になったら、かん字を書けるようになりたいです。2年生でならうかん字は、たくさんあります。きょうかしのあたらしいかん字は、160字あります。1年生のときよりおおいです。はやくおぼえて、日本のおともだちに、おてがみをかきたいです。あとは、スイミングで25メートルおよげるようになりたいです。れんしゅうをして、クロールとせおよぎができるようにがんばります。



「座右の銘」 中学部 3年 松丸 雪菜

座右の銘とは、つらい時や悲しい時などに励ましてくれる言葉のことである。私は、中学3年生まで日本人学校を続けられたのは、やはり座右の銘を持っていたお陰でもあるのではないかと考えた。その言葉は、「いつか役に立つ」ということだとわかった。



アメリカ生まれ育ちというハーフとして日本語を習うことが時々嫌になったり、面倒くさく思ったりしたことがあった。泣きながら父に「もう日本人学校をやめたい」と言っていたのをよく覚えている。そういう私に、父は必ず「将来、絶対いつか役に立つから今は頑張っていて続けなさい」と励ましてくれた。きっと私は今まで、ずっとその言葉を頭の中にしまっていて、ここまでたどり着いたと思う。

中学部最終年というかけがえのない大切な今年度を、あきらめず、頑張っていて勉強したいと思う。「いつか役に立つ」ように今を迎えたいと私は思う。